## 日本工学院専門学校

# 星野プロデュースのホテル・観光コース

リゾナーレ八ヶ岳

インターンシップ

KAMAレンジャー

日本工学院専門学校は2023年4月、東京・蒲田キャンパスの情報ビジネス科ホテルコースを、従来のホスピタリティ教育だけでなく、「IT×コミュニケーション＝マーケティング」をコンセプトに、「ホテル・観光コース　produced　by　星野リゾート」としてリニューアルし、スタートさせた。リニューアルにあたって、コミュニケーション、マーケティング、ITに関する教育カリキュラムを星野リゾートと共同で開発。次世代の観光人材の育成に生かしている。

共同開発カリキュラムの一環として、今年度はフレッシュマンキャンプを「星野リゾート　リゾナーレ八ヶ岳」で実施。現地到着時のオリエンテーションでは、リゾナレーレ八ヶ岳に勤務する卒業生による激励が行われた。

またファミリー層を想定ターゲットとした「リゾナーレ八ヶ岳の魅力を味わえる滞在プランを考える」を課題にグループワークを行い、星野リゾート社員たちを前にプレゼンテーションも実施した。夕食時は、リゾナーレ八ヶ岳が提供しているチームビルディングプログラム「カレーなる一族」を体験。班ごとにカレーを作り、出来上がりを競った。リゾナーレ八ヶ岳では毎年、学生向けに約1カ月間のインターンシッププログラムも行っている。

観光コーディネート実習の一環で、星野リゾートが行っている「OMOレンジャー」をモデルとした「KAMAレンジャー」の活動も蒲田で実施している。

「OMO（おも）」は、星野リゾートが展開する観光をメインにした都市型カジュアルホテルブランド。ホテル周辺エリアに精通し、宿泊客を周辺観光にナビゲートしてくれる「OMOレンジャー」の役割をホテルスタッフが分担して担っている。

同コースではこれをモデルに地域連携事業を実施。昨年の学園祭では、学生が5色（赤、青、黄、緑、桃）に分かれ、インスタ映えスポット、散歩スポットなど蒲田の名所をガイドした。街のマップや店の紹介パンフレットも学生たち自身で制作するなど、観光コーディネートの面白さを実践で学んでいる。

星野リゾートがこのような専門学校との教育連携を行うのは同校が初めて。星野佳路代表らによる特別講義に加えて、卒業制作の指導協力、就職サポートなども実施している。星野代表は観光業を目指す学生たちへ次のようにエールを送る。

『観光』には座学で学ぶことだけでなく、現地に行かないと学べないことがたくさんあります。私たちも日本工学院情報ビジネス科ホテル・観光コース講師として、これまでの現場での経験と実践を共に皆さんに伝えていきます。『観光の仕事』は、決して簡単ではありませんが、非常にやりがいのある仕事です。皆さんもどんどん観光産業の中に飛び込んでいただいて、実力を付けていただきたい。一生懸命学び、日本の観光産業を牽引する大事な観光人材に育ってほしいと思っています」。

日本工学院専門学校（蒲田キャンパス）は、学校法人片柳学園が運営。同学園は他に、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校、さらに東京工科大学・大学院・附属日本語学校・片柳研究所も擁する教育機関だ。東京都大田区蒲田で1947年に設立。その後、日本テレビ技術専門学校、日本電子工学院と名称を変え、産業界の要請に応える技術者教育を行ってきた。2010年に蒲田キャンパスの新校舎が完成。16年には4千人収容の舞台付き地下多目的ホール「片柳アリーナ」も完成した。同専門学校の卒業生総数は25万人以上に達する。

蒲田キャンパス
情報ビジネス科
ホテル・観光コース
Produced by 星野リゾート
ホテルスタッフ専攻
観光マーケティング専攻
観光コーディネーター専攻

2023年4月、星野リゾートプロデュースによるホテル・観光コースとしてリニューアル！

コンシェルジュ
フロント
ホテルイベントスタッフ
観光マーケティング
観光コーディネーター
ブライダルスタッフ
管理・営業

星野リゾートとの主な教育提携内容

講師派遣
星野リゾートで実際に活躍しているスタッフが講師として来校。ブランドマーケティングやリスクマネジメント、ファシリティマネジメントの講義では、それぞれを専門とするディレクターがプロの現場のホテル運営ついて実践的に指導します。

教育内容の共同開発
星野リゾートがこれまで培ってきたノウハウを生かし、新たな人材育成カリキュラムを共同開発。観光のプロとして必要になる教養科目から、専門スキルを身につけるジョブ型教育まで、他校にはない「星野リゾート×日本工学院」オリジナルの教育を用意しています。

インターンシップ
夏休み、冬休み、GWの時期などに、全国各地の星野リゾートが運営するさまざまな施設でインターンシップを実施。授業で学んだことを実践で確認するとともに、現場でしか学ぶことのできないスキルを培うチャンスを提供します。

就職サポート
就職対策にもなるインターンシップの機会の提供や、リゾートホテル・旅館見学会、人事担当者による就職セミナーなど、自分にマッチした職種・進路を見定めるチャンスを多数用意。全国各地の星野リゾートが運営するホテル・旅館への就職をサポートします。

日本工学院専門学校
ITカレッジ　情報ビジネス科
ホテル・観光コース（2年制）
Produced by 星野リゾート
0120-123-351　〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22
https://www.neec.ac.jp/　@nihonkougakuin　@neec_official　nihonkogakuin
オープンキャンパス＋体験入学開催中！

## 玉川大学

# グローバル時代の観光人材教育

古座川町観光協会と取り組んでいるスタディーケーション開発

三木教授

玉川大学は2007年4月に経営学部観光経営学科を発足。玉川学園の教育理念である「全人教育」のもと、英語運用力や国際感覚、異文化理解力、情報力などのグローバルスキルを備えた観光人材の教育に力を入れてきた。

さらに、「グローバル時代における観光の振興に広く貢献できる人材の養成」を加速するため、同学科を発展させて13年4月に観光学部を開設。オーストラリアへの1年間の留学とTOEIC700点以上を卒業要件にし、1年間の留学を含めても4年間で卒業が可能な画期的なカリキュラムで、同大の人気学部の一つとなっている。

その玉川大学観光学部は22年4月、さらに進化。「グローバル時代におけるツーリズムを通じて、社会の持続的発展に広く貢献できる人材の養成」を掲げ、「グローバルエリート・コース（GEコース）」と「リージョナルリーダー・コース（RLコース）」の2コース制となった。国際共通語としての英語力、異文化への理解と適応力、ツーリズム全般の知識、課題発見力と課題解決力、組織経営のための知識（マネジメント力）を4年間で学ぶ。

1年から2年春まで英語力と学問の基礎を強化。2年秋から3年春までにオーストラリアの提携校へ留学。3年秋から4年秋までは専門科目を学修する。

国境と言語を超えて世界を舞台に活躍する人材の養成を目指すGEコースはTOEIC800以上が卒業要件の一つだ。

世界に誇れるまちづくりをリードする人材を育成するRLコースではTOEIC700以上を卒業要件の一つとしている。

留学出発まで学生は多くの時間を英語に費やすことになる。1年次1月末日までにIELTS6・0以上またはTOEIC500以上を獲得する必要があるため、「英語シャワープログラム」で徹底的に英語を学びながら、ツーリズムと経営の基礎も学修する。

オーストラリアへの留学プログラムは2年次8月から3年次7月まで。ビクトリア州の2校、クイーンズランド州の1校の計3校（22年度）に分かれて学ぶ。留学前半の8～1月は大学付属の語学学校で英語力を向上させ、留学後半の2～7月に大学の授業を受講する。IELTS6・0以上であれば、前半も後半も大学の授業を学ぶことができる。

また、留学中には通算1カ月超のインターンシップを実施。現地のホテル、旅行会社などやイベントでの就業を体験する。

1年間の留学期間を含めて4年間で卒業するという濃厚なカリキュラムは、1、2年次には30人程度のクラス編成で、3年次以降はゼミによって、各教員が一人一人の学生と向き合う丁寧な指導が可能な少人数担任制によって支えられている。観光学ゼミナールは3年次後半から開始。地域活性化、観光者行動、異文化理解、観光経営学、統計分析、観光まちづくり、ホテルマネジメント、新規事業構想などを留学で育んだグローバルな視点から研究する。

玉川大学観光学部では、過半数の教員がツーリズムやマネジメントの豊富な実務経験を持つ。社会の求める人材を理解し、実践的な指導を行っている。

◇　◇　◇

観光学部観光学科学生主任の三木日出男教授に話を聞いた。

――昨年4月からカリキュラム編成を「2コース制」にグレードアップされた。

「卓越した英語コミュニケーション能力でグローバルビジネスの世界でリーダーシップを発揮できる能力を学ぶ『グローバルエリート・コース』と、国際感覚と英語による発信力で国内の観光産業やまちづくりのリーダーとなる素養を磨く『リージョナルリーダー・コース』を設けた。観光・ホスピタリティ分野の未来を見据えて、多様な進路を想定したフレキシブルなカリキュラム編成とした。ポストコロナ時代の新しいツーリズム＆ホスピタリティの可能性を開く人材を育成する」

――多様な進路とは。

「人が動くところにビジネスあり。観光、つまりツーリズム＆ホスピタリティはとても広がりのある分野だ。いわゆる旅行やレジャーだけでなく、人々の暮らしを快適にする製品やサービス、喜びをもたらすエンターティンメント、知的好奇心を満足させてくれる教育やメディアなど、あらゆる分野でツーリズム＆ホスピタリティの考え方は大変重要になっている。学生にも〝観光〟を広い視野で捉えて将来について考えてほしいと思っている」

――三木教授はジャルパックのご出身だ。実務家出身の教員が多いのか。

「ジャルパックでは、海外支店での勤務が長かった。『観光の創造』が私の研究テーマだ。玉川大学観光学部には、最先端のアカデミックな研究に携わる先生方と、私を含む実務のキャリアを有する教員がバランス良く在籍している。お互いに刺激し合い、協調し合いながら、学生のためにどのような教育が望ましいかを真剣に話し合っている。2コース制へのリニューアルも、観光学部の教員陣がこれまでの実績とポストコロナを見据えた視野から最適解として導き出したものだ。人が好き。人に喜んでもらうことが大好き。そんな学生にぜひ観光学部に来てほしい。この学部で多様な個性と出会い、留学で異文化に出会うことで、世界に向けて夢をかなえられる人になってほしい。この学部にはそのチャンスがたくさんあるはずだ」

――留学中にはインターンシップも行っている。

「留学中に2週間のインターンシップを2回実施する。主にマリオットホテル、メルキュールホテルなどのホテル、JTB、HISなどの旅行会社に受け入れていただいてきている」

――学生の英語力は実際にどのくらい上がるのか。

「観光学部生のTOEIC平均スコアは入学時の平均が410だが、卒業時は750を超えている。留学要件は500に設定している」

――玉川大学観光学部は国内の地域振興、全国の高校生への観光まちづくり啓発にも取り組んでいる。

「和歌山県の古座川町観光協会と組んで、『スタディー（勉強）』と『バケーション（休暇）』を組み合わせた『スタディーケーション』の開発と観光コンテンツの開発に21年から取り組んでいる。学生たちからは『リアルプラネタリウム』『TikTokによるプロモーション』『ホームステイで第二のおじいちゃん、おばあちゃんづくり』『新しい体験セットプラン・キャヌー（eバイク、釣り、川遊び、デイキャンプ、カヌーの欲張りセットプラン）』『アグリツーリズム（畑を耕そう）畑管理システムとベジスクリプション』といったアイデアをこれまでにご提案させていただいた」

「玉川大学では21年から『高校生まちづくりコンテスト』を開催している。全国の高校生から『ツーリズムを通じた自分たちの〝まち〟の活性化プラン』を募り、決勝大会を玉川大で実施。観光庁長官賞、玉川大学学長賞、審査員特別賞を授与している。第3回大会は23年9月中旬から12月4日まで受け付け、24年2月25日に決勝大会を行う。全国の高校生が観光とまちづくりに目を向けることで将来的に『観光の創造』が生まれることを願っている」

ツーリズムを通して世界と地域を結び先導する
玉川大学 観光学部
Tamagawa University　College of Tourism and Hospitality

１年間のオーストラリア留学プログラムを含む実践的カリキュラムで、
英語とツーリズム、そして異文化理解を学び、
国際感覚と観光・マネジメントの専門知識を備えた人材を育成します。

Zoom を利用した個別相談も可能
観光学部の履修内容や留学制度についてご質問があれば
お気軽にメールでお問い合わせください。観光学部の教員がお答えいたします。
ryugaku_tsm@tamagawa.ac.jp
（入試に関するご質問は入試広報課へお問い合わせください）
観光学部ホームページ
玉川大学はじめてガイダンス

オープンキャンパス
2023 年 8 月 6 日（日）
体験授業フェアⅠ
2023 年 8 月 20 日（日）
体験授業フェアⅡ

〒194-8612　東京都町田市玉川学園 6-1-1　玉川大学入試広報部入試広報課　Tel：042-739-8155　e-mail：koho@tamagawa.ac.jp　HP：https://www.tamagawa.jp